

■動物実験計画書(R2年度)

申請件数・・・128件 承認件数・・・126件 取り下げ件数・・・2件 未承認・・・0件

再審査件数・・・98件(128件のうち再審査を行った件数)

再審査の理由	件数
苦痛カテゴリーの把握	75
記入漏れ	13
具体的な説明不足	67
薬剤名及びその投与量・経路	53
教育訓練未受講者は受講すること	0

再審査の理由	件数
内容の整合性	20
規則に適合する申請	11
用語の解説(略語など)	0
動物を使用する理由	2
遺伝子組換え生物等委員会への申請	17

再審査の理由	件数
使用動物の入手先	3
用語の間違い	11
安楽死の表現	4
開示・不開示	8
使用動物数の根拠	37

■動物実験施設

施設数(R2.04.01現在)	15件
申請件数	2件
承認件数	2件
取り下げ	0件
廃止件数	0件
施設数(R3.03.31現在)	17件

■実験室

施設数(R2.04.01現在)	126件
申請件数	5件
承認件数	5件
取り下げ件数	0件
廃止件数	2件
施設数(R3.03.31現在)	129件

■動物別入手匹数及び動物別飼育匹数(R3.3.31(特定日)データ)

* マウスとラットは二桁の概数で記載

動物別入手匹数	マウス	26,000
	ラット	2,500
	モルモット	15
	ウサギ	40
	イヌ	
	スナネズミ	
	ハムスター	
	フェレット	
	スンクス	
	ニワトリ	
	ブタ	8
	ハダカデバデズミ	
合計	28,563	

動物別飼育匹数	マウス	42,100
	ラット	620
	モルモット	1
	ウサギ	16
	イヌ	
	スナネズミ	
	ハムスター	
	フェレット	
	スンクス	
	ニワトリ	
	ブタ	3
	ハダカデバデズミ	694
合計	43,434	

■動物実験施設利用者数

施設利用者数・・・12,706人

■動物実験より得られた成績(論文数)

論文数・・・123編

■教育訓練(e-ラーニング*1)

受講者数	授業用	暫定版	合計
	53	254	307
内容	1)実験動物と動物実験概論 2)動物実験を行う手順について 3)動物実験のプロトコールに記載しておきたい事項 4)人畜共通感染症 5)我が国において制定されている法律・基準等 6)熊本大学動物実験等に関する規則 7)熊本大学生命資源研究・支援センターに関する規則 8)動物資源開発研究施設の利用方法の説明 9)その他		

*1 令和2年度は新型コロナウイルスの影響により、e-ラーニングで実施した。
教育訓練は授業用と暫定版があり、授業用の受講者は受講が確定し、暫定版の受講者は翌年度に再受講を求めている。